



国際ロータリー第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

御殿場 ロータリークラブ 週報

第2603回 例会プログラム

- 例会場 / 東山荘講堂
- 開会点鐘 / 12:30
- ロータリーソング / 奉仕の理想
- 内容 / 5大奉仕委員長所信表明2
 社会奉仕委員長 大胡田明寿君
 国際奉仕委員長 斉藤 礼志君
 青少年奉仕委員長 林 則夫君

会員慶事

- 会員誕生日 / 7月19日 勝又 誠君
 7月23日 長田富夫君
- 皆出席 / 7月12日 林 則夫君
 (ロータリー歴8年)

会長挨拶

白井良太



会長挨拶は高村君の富士山の話のように、自分の職業や考え方を話したほうが良いと考え、建設業の色々なことに対して話そうと考えていました。基本的にはその方向で行きますが、7月2日の静岡新聞の視標に掲載された地震学者石橋克彦氏の「時代錯誤のリニア再考を」との記事を読んで、この方の著書を読んでいるので書かれていることはもっともなことで賛同できます。

断層をいくつもの長大トンネルで抜くなど、地震でずれてしまった場合の危険性を常時背負うことになります。丹那トンネルは工事中に北伊豆地震が起

き2.4mほどずれています。工事中だからS字カーブで逃げましたが、できてしまっていたら大惨事になっていたでしょう。丹那盆地の豊かな水は枯れ、7年の工期が16年になり67名の犠牲者を出しました。新丹那トンネルは4年半で抜きましたが同じような危険性は引き継いでいます。

この方は以前、近い将来東海地震は必ず起きると言われ、その影響で東海地方、特に静岡県内いたる所に観測機器が備えられ、一時は東海地震は予知ができるだろうと考えられていました。石廊崎から御前崎の距離や高さなど常時計測しています。ただ、データが揃いすぎて地盤の動きなどはわかりますが、歪みがどのくらいになったら警報が出せるのか。地震予知連絡会は今でも活動を継続していますが、何月何日に起きるとは地震予知はできないことになっています。



会長挨拶用 QRコード

7/9の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
55名	50名	46名	92%	100%

欠席者(4名) 神谷高義君・勝又 厚君・芹澤隆博君
山内強嗣君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

6/25のメーキャップ

- 6月25日 週報、HP閲覧 稲葉博之君
- 6月25日 週報、HP閲覧 神谷高義君
- 6月25日 週報、HP閲覧 長田富夫君
- 6月25日 週報、HP閲覧 鈴木榮一君
- 6月25日 週報、HP閲覧 山内強嗣君



ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

7月23日は
休会です

次回
7月30日の
例会

- ★東山荘講堂
- ★12:30点鐘
- ★第1回クラブ協議会
全員

5大奉仕委員長所信表明



クラブ奉仕委員長

橋本喜市君

「クラブ奉仕」について、ロータリークラブ定款では、「クラブの機能を充実するために、クラブ内で会員がとるべき行動に関するものである。」と記されています。

クラブ奉仕は企業組織に例えれば、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕は営業を担当する部門であり、クラブ奉仕はそれを支える管理部門であります。

今年度の御殿場ロータリークラブ会員の平均年齢は65.11歳です。昨年や一昨年よりは若返ってはいますが高齢化は進んでいます。会長が掲げられました目標「健康で安心なロータリー」は決して油断したらウイルスに負けてしまう、そうなったらロータリーどころではないぞ、と警鐘の意味も含まれています。その対策によりクラブの活動が制約される事態がでてくることは事実です。でも、管理部門であります「クラブ奉仕」は内部充実を図るために各委員会また会員各位の力強い協力をお願いいたします。

また、純増3.5%目標の会員増強は推し進めていきたいので、増強に関する情報はどしどしお待ちしております。

会員増強・会員選考・ロータリー情報・職業分類・公共イメージ向上・出席・プログラム・クラブ会報・親睦活動・雑誌文献、各委員会の皆様よろしく申し上げます。



職業奉仕委員長

高村繁男君

5大奉仕の第2部門である職業奉仕は、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものであります。また、会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれます。

従ってロータリアンの活動に職業奉仕が不可欠であり、職業奉仕の理解を深めることが必要であります。

そこで、職業奉仕の原点と重要性について、会員が理解し、これを職業を通して、実践していくことが求められていると思います。

本年度は、職業奉仕について理念或いは基本的な考え方の認識を深めるための事業として、当初、以下の3点を計画していました。

- I. 地域内の企業訪問の実施
- II. 職業奉仕の実践に関する卓話
- III. 地域奉仕委員会事業への協力

しかしながら、新型コロナウイルスの感染防止のため、Iは中止。IIについては1月が職業奉仕月間であるため、その中で予定します。IIIについては機会を捉え実施する予定です。



司会
長谷川雅也君



出席報告
長島和彦君



皆出席
豊山徹也君



皆出席
林 準君



皆出席
望月 茂君